

学校だより 6月号

令和4年6月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL <https://koya-e-konosu.edumap.jp/>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

あたたかな思いに触れる気持ちのよい生活

校長 棚澤 大輔



5月28日(土)に行いました運動会は、おかげさまでよい天気に恵まれ、滞りなく終えることができました。子どもたちは「精一杯 仲間とともに かがやけ小谷っ子」のスローガンのとおり、一人ひとり真剣な表情での練習態度、本番での全力での競技・演技を見せてくれました。また、表現や応援合戦などでは仲間と息を合わせ、チーム一丸となつての姿を見せてくれました。また一つ、子どもたちの成長を見ることができた学校行事であつたと思います。

保護者の皆様には、日頃の体調管理とともに、励ましの言葉がけもいただいていたことと存じます。また、PTA 役員やおやじの会の皆様にも準備や片付けで大変お世話になりました。日頃よりのご家庭のあたたかい支えがあつてこそこの学校教育です。本当にありがとうございます。子どもたちには、そうした家庭の支えがあつて運動会が開催されているということ話し、「自分のもてるすべての力を発揮し自分の成長を見せることで、応援してくれている方々に感謝の気持ちを伝えていきましょう」とお話ししていました。私の目には、子どもたちの感謝の気持ちが伝わる、すばらしい運動会であつたと感じています。



さて、先日、子どもたちの人権作文を読む機会がありました。人権作文は、人権意識の高揚を図り、身の回りの様々な人権侵害や差別の問題に正しく対処できる児童の育成を図るため、2年生から6年生に対し、人権について考える時間を設け、自身の体験をもとに考えや思いを書く機会として取り組んでいるものです。

子どもたちの作文を読んでいると、気持ちがあたたかくなります。それは、「相手を思いやる心」や「感謝の気持ち」、「命の大切さ」といったことを、身近な人やものとのかかわりの中で、思いや考えを自分の言葉で一生懸命伝えようとしてくれているからではないかと私は思います。

「人権」と書くと、少し難しく感じることもあるかもしれませんが、日頃の生活の中で、互いが気持ちよく過ごすためにはどうしたらよいのかということを考えることだととらえると、「人権」もぐっと身近なものに感じられるのではないのでしょうか。

子どもたちは作文の中でこんなことを書いてくれました。

「友達へのやさしい言葉がけにより、二人とも笑顔になった。」(2年生)

「みんなを笑顔にすることで、自分も笑顔になっていく。」(3年生)

「『ありがとう』は人の気持ちをあたたかくさせるいい言葉です。」(4年生)

「ありがとうは、言葉以外でも態度や行動で表すことができるのだ。」(5年生)

「考え実行し環境をよりよくしていくことが、困っている方々の助けにつながる。」(6年生)

こうした子どもたちの純粋な思いに触れると、子どもたちが創り出す未来が明るいものになる予感がします。小谷小学校は、こうした人と人とのあたたかい関係づくりを大切にしながら教育を進めているところです。友達同士はもちろん、先生との関係や地域の方々との関係、そして家族との関係があたたかい関係で結ばれていくことで、よりよい教育が展開されるものと考えます。今後も皆様とともに小谷っ子の健やかな育成を進めていきたいと思っておりますので、引き続きのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

学校での子どもたちの様子を学校ホームページでも公開しております。行事や日頃の授業風景など、こまめに更新してまいりたいと考えております。お時間ありましたらそちらもご覧いただければ幸いです。(<https://koya-e-konosu.edumap.jp/>)